

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 広告を裏読みする
- 42 大往生考
- 51 西風
- 59 交差点―読者の声・編集者の声



オミクロン騒動は改定申し入れの絶好機。だが、政権にその気なし。沖縄の選挙でも決め手ならず。全国的には無関心。日本中が無意識の「属国根性」に染まっているのが、不平等協定存続の最大要因だ。(110頁)

- 88 皇室の風―岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う―河谷史夫
- 96 をんな千一夜―石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし
- 98 社会・文化 ● 情報カプセル
- 100 コロナに脆すぎる日本
- 104 進化する欧米との差は「致命的」
- 106 タイガー・ウッズは復活するか―新たなクラブとスウィングに挑戦
- 108 NHK交響楽団に迫る「リストラ」―前田会長の「合理化」の犠牲に
- 108 肥満対策の最新研究
- 110 薬物治療が世界の主流に
- 110 日米地位協定―終わりになき米国の「疑似占領」

3 連載 巻頭インタビュー ドロン・レビット―サイバー被害の正しい対処法

ウクライナと台湾の「同時危機」

―習近平はプーチンの冒険に乗るか

- 12 米社会に広がる「暴徒の政治」―各地の行政に抗う過激集団
- 14 「隠れ極右」マクロンの必勝戦術―左派「惨敗」で歪むフランス
- 16 カザフスタン「陰謀劇」の深層
- 18 新独裁者は「プーチンの傀儡」
- 22 WORLD ● 情報カプセル
- 22 ミャンマー国軍「悪逆非道」の二年―擁護する日本政府と「日本財団」
- 24 新たな「バルカン危機」の懸念―イスラム三天国の不穏な介入
- 28 南シナ海「対中新連合」の胎動―割れるASEANは大荒れ模様
- 30 北朝鮮「ミサイル恫喝」のこの先
- 32 金正恩は「線」を越えるのか
- 32 韓国「対日課報活動」の実情―「丸裸」にされる監視対象
- 34 インドが怯える「二正面戦争」
- 36 中国とパキスタンの不穏な連携
- 36 中国社会を蝕む「高学歴失業」
- 38 大卒無職の「津波」が生む不穏
- 38 連載(現代史の言霊)二月の宣言―米露の冷戦終結(合意)(一九九二年)

北京五輪後、中国は台湾恫喝を強める。その度合いは、プーチンの「脅迫戦争」の成り行きにしたいだ。米露が「2つの戦域」を抱えたらどうなるか。東西の専制君主は、弱った米国の足元をじっと見る。(6頁)



米金融緩和「急停止」が生む波乱

- 60 株式市場「混沌」の行方
- 62 LINEと警察「情報漏洩」の疑念―捜査専用ツールも「中国が開発」
- 64 三菱商事「洋上風力総取り」の裏事情
- 67 「安値落札」に恨み骨髄の面々
- 67 連載(ヘクローブ・アツブ)
- 67 木原正裕(みずほFG新社長)―諸悪の根源「旧行意識」守旧人事
- 68 連載(企業研究)東京証券取引所
- 72 笑止千万の「市場再編」
- 72 「原子力の掃き溜め」日本原燃の醜態―再処理工場に喰われる「電気料金」
- 74 経済 ● 情報カプセル
- 78 連載(地方金融の研究)渡島信用金庫(北海道)―まさかまさかの「東京進出」
- 80 銀行業界に新たな「システム問題」―IBMが起す「クラウド化」の波
- 82 ぶったるんでる「金融庁」
- 84 銀行の無法放置と「天下り三昧」
- 84 半導体王者「TSMC」に暗雲―日米独「拡大路線」に潜む罠
- 86 外食産業は「解体的再編」へ―多重苦の業界を見捨てた政治家

60年ぶりの再編はとんだ茶番劇に。最上位のプライムは「ザル審査」で、一部上場の8割以上が横滑り。魅力ゼロの再出発で、日本市場の沈下は加速する。問われるのは、東証自身の企業統治の在り方だ。(68頁)



「聞く力」で敵を作らぬ政権運営のはずが、意外にも「岸田憎し」は増えていく。安倍・菅の嫉妬に始まり、公明や維新も官邸への反感を募らす。支持率を下げる失策があれば、すぐに発火しそうな様相だ。(48頁)

- 44 政治 ● 情報カプセル
- 46 女性天皇「徹底阻止」の終着点
- 48 象徴天皇制「潰し」と皇室の終焉
- 48 岸田を困む「静かな敵意」
- 52 順調政権の裏で絡まる人間模様
- 52 連載(政界スキヤン)岸田の右腕「木原誠二」の限界
- 54 岸田と安倍「対中決議」の暗闘
- 56 各所で顕在化する「党内不和」
- 56 参院選で「大採め」の自公連立―「相互推薦」巡り憤懣の創価学会
- 58 連載(罪深きは)この官僚「島山陽二郎」(経済産業省商務サービス課長)―「スポン賭博」拳打大を推進